

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業	
事業名	劇団コーロ 水木しげる作品が鳥取を行く「のんのんばあとオレ」			
目的・内容	親と子に本物の舞台に触れる機会を提供するとともに、県内4箇所で開催することで、より多くの子どもたちに鑑賞してもらい、文化芸術愛好者の拡大に繋げる。 また、県内文化施設と連携して事業を実施し、ネットワークの拡大を図る。			
開催日時	平成22年①2月27日(土) 開演18:30 ②2月28日(日) 開演14:00 ③3月6日(土) 開演18:30 ④3月7日(日) 開演14:00			
会場	①境港市市民会館 ②米子市淀江文化センター ③とりぎん文化会館 小ホール ④三朝町総合文化ホール			
入場料・参加費 (友の会・団体)	おとな:2,500円 (2,000円)	4歳～高校生:1,000円 (900円)		
集客状況	入場者数 1,292名(4公演)	設定席数 2,070席(4公演)	集客率	62.4%
事業費状況	予算額	収入 2,490,000円	支出 3,324,000円	収支比率 74.9%
	決算額	収入 2,086,500円	支出 2,749,426円	収支比率 75.9%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇が楽しく作っており、観客の反応もあり楽しかった。 ・親子で楽しい時間を過ごすことができました。心が洗われたような気持ちになりました。 ・生の演劇が迫力があり、ストーリーもおもしろかった。 ・笑いあり、ちょっぴりジーンとくるところもあり、大人もとっても楽しめました。 ・いろんな妖怪が出てきて面白かった。不思議な世界をのぞいたみたい。 ・人の生死という重いテーマについて妖怪という存在をはさんで子どもにも示しやすく、楽しい内容に仕上がっているように思います。 ・TVなどよりも、心に残るすてきな時間を過ごすことができました。 ・人は亡くなると色々な人の心に魂が宿ると言う言葉が印象的でした。 ・6歳と4歳の子どもと観ましたが、話の内容は少し難しかったみたいです。 			
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三朝や淀江のように財団が中々鑑賞公演を行わない地域において、施設と連携して、親と子が文化芸術に親しむことができる鑑賞機会を提供し、新規顧客の開発に繋がれたことは、財団の事業ミッション達成の一助となった。 ・初めて公演を観た方が47%程度であり、新規顧客の開発ができた。 ・親子劇場との良好な関係が築けた。協力して事業の宣伝、販促に努めることができた。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演目も多少高学年向けであり難しいところもあったが、題材によりどのように販促を行うかは今後の課題でもある。 			
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子劇場と財団が連携した催しは観客マナーがとても良い。社会のマナーが乱れている今日、こうした点も評価したい。 ・おやお劇場、小学校への呼びかけは、良い連携が図れたように思う。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の親子への働きかけが今後の課題である。 ・おやお劇場との連携の上に取り組みができているのであれば、入場率68%は低い気がする。 			
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も鑑賞事業や育成・創造事業を通じて、親と子が文化芸術に親しむ鑑賞・体験機会をその機会が少ない地域に可能な限り提供していく。 ・親子向け事業の販売促進については、今後もターゲットとする年齢層の子ども全員にチラシを配布することや、保護者が目にする場所へのポスター等の掲示、子ども会へのPR、マスコミの活用、事業協働推進者との連携を主にいき、子どもの興味、保護者・家族の関心を引くように努め、集客を図っていく。 			